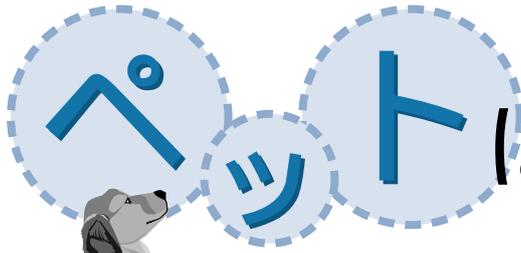


9月20日～26日は動物愛護週間



はあなたの大切な家族です

環境課 66 1121

人間と動物が共に生きる
社会を目指して

昔から、人間は犬や猫をペットとして飼育してきました。最近では、いろいろな動物がペットとして飼育されています。

ペットにとって飼い主は、生きていくための唯一のよりどころですが、飼育放棄や不適切な飼育が数多くみられます。ペットを飼う場合、飼い主は命あるものとしての動物に深い愛情を注ぐと同時に、責任も伴うことを忘れてはなりません。



ペットは、家族の一員として、温かな心のふれあいと安らぎを与えてくれます。家族の大切な一員としてのペットが、地域で受け入れられ、社会の一員であることが当たり前になれば、飼い主もペットも幸せです。
ペットを飼育している方、これから飼育しようと思っている方、今一度、ペットの飼育について考えてみませんか。

飼育で大切なこと

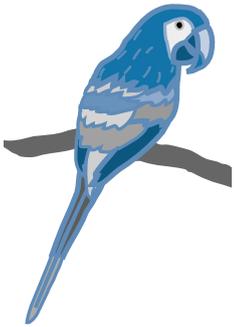
最後まで飼育をする

動物を飼うことは、楽しいばかりではありません。鳴き声や病気で、飼い主に面倒をかけることもあります。「こんなに手がかるなんて」「もう飼えない」などと思っても、一度飼いはじめたら途中でやめることはできません。

動物も私たちと同じ大切な命をもっています。飼い主には、動物を愛情と責任をもって育て、最後まで家族の一員として暮らす義務があることを忘れてはいけません。

人間に迷惑を
かけないようにする

飼い主には、飼育する動物が人に危害を加えたり、迷惑をかけたりにすることのないよう管理する責任があります。そのためにも、動物を飼う前には、動物の習性などをよく調べ、責任をもって最後まで面倒を見ることができるとかを慎重に判断することが大切です。



飼い主のマナーとモラル

社会の中で人間と動物が共存していくため、飼い主が守らなければならないマナーとモラルがあります。

飼い主を明示する

飼っている動物には、名札や標識などをつけ、飼い主が誰でもわかるようにしましょう。

繁殖を制限する

繁殖を希望しない場合は、飼い主の責務として不妊去勢手術などを行い、繁殖を制限しましょう。

動物による感染症の
知識を持つ

気づかずにペットを通じて動物感染症にかかることがあります。感染症の知識を持って、飼い主自ら予防するとともに、周りに迷惑をかけないようにしましょう。

周りの人や自然環境に
配慮する

動物を逃がしたり、放し飼いをしたりすることは、周りの人や自然環境に、迷惑を及ぼすことがあります。最後まで、しっかり面倒をみましょう。